高齢者認知症対策の強化に向けた緊急提言

資料７－３

【背景】 高齢化の進展に伴い、2025年には約700万人（高齢者の5人に1人）が認知症になると推計されている。

家族だけで介護するのは難しい　⇒　地域全体で支える仕組みづくりへ向けて

地域包括ケアシステムの充実・強化

①
認知症の人を地域全体で支えるため

②
認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けるため

③
認知症を支える基盤整備のため

④
認知症施策を加速するため

1　認知症に対する理解促進と地域で認知症の人を支える体制の構築

○　認知症に対する国民の理解促進
○　地域包括ケアの体制整備（地域包括支援センターの機能強化）

2　認知症の人への生活支援

○　認知症の人と家族の思いの施策への反映
○　認知症の人による事故に起因する損害への賠償制度
○　自動車運転免許返納後の移動手段の確保等
○　成年後見制度の利用促進
○　高齢者虐待防止対策の強化
○　若年性認知症になっても本人の力を最大限に活かせる環境整備

3　認知症の人を介護する家族への支援

○　ダブルケアラー・ヤングケアラーへの支援
○　介護離職ゼロへ向けた介護休業・休暇制度の充実及び利用率の向上
○　負担軽減につながる介護方法の啓発

4　認知症ケアの推進

○　認知症の症状に応じた適切な医療・介護サービスの提供
○　認知症疾患医療センターの充実
○　認知症の症状に応じた適切な医療サービスのための人材育成
○　認知症ケアに携わる介護従事者の介護技術の向上等
○　医学生等に対する認知症教育の強化

5　国による認知症に関する研究・技術開発の促進

○　認知症予防・治療に関する研究開発の加速と治療方法の標準化
○　高度先端技術開発等による認知症の人が暮らしやすい環境整備

6　認知症施策の加速的な推進

○　認知症施策を推進するための法律の制定と認知症施策緊急強化基金の創設
○　認知症高齢者の急増に対応可能な財政措置の拡充